



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要	
建物名称 (仮称)ブラザピア静岡 新築工事	BEE 0.6 BEEランク B- ★★

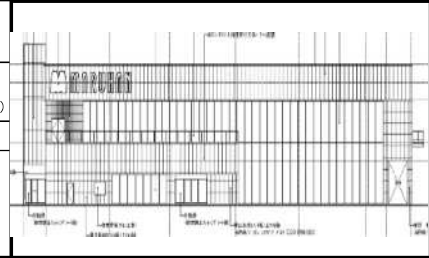
2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3 /5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.9 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4点以上 3点以上 3点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.3
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要内装仕上げ材は耐用年数長い材料を使用している。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備	
	3.2 3.2.1 ③	昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数	
	2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔	
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦硬質ウレタンフォームによる高断熱化。	LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
	2 ⑧	自然エネルギー利用	
	3 ⑨	設備システムの高効率化	
	4 4.1 ⑩	モニタリング	
	4.2 ⑩	運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器の使用。 ⑫LGSを使用している。	LR-2 1 1.1 ⑪	節水	
	1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無	
	1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
	2 2.1 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減	
	2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用	
	2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	2.1.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.1.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材	
	2.1.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
	3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用	
	3.2 3.2.1 ⑬	消火剤	
	3.2.2 ⑬	断熱材	
	3.2.3 ⑬	冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策と、高炉セメントの採用。	LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮	
	2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	2.7
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
		2.1.2 ⑯	免震・制振性能
		2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備
		2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備
		2.4.3 ⑰	電気設備
		2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法
		2.4.5 ⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	2.5
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高はゆとりをもって取っている。空間は用途設備の変更が容易である。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑳	階高のゆとり	
	3.1.2 ㉑	空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1 ㉒	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	1.9
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	2 ⑥	まちなみ景観への配慮	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	

CASBEE[®]-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プラザアピア静岡 新築工事	階数	地上2F、地下0F
建設地	静岡県静岡市駿河区中吉田15-8	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年8月1日
敷地面積	14,388 m ²	作成者	手冢正美
建築面積	6,969 m ²	確認日	2019年8月1日
延床面積	6,533 m ²	確認者	韓 裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 88%
③上記+②以外の 88%
④上記+ 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 断熱性が高い材料を使用している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 壁長さ比率が小さいため、設備・空間のプランニングの自由度が高い。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 断熱性が高い材料を使用している。	LR2 資源・マテリアル 躯体は分離しやすいようにLGSを使用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していないため、NOx、SOx、ばいじんによる大気汚染をしていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される